

【収入保険】私の選択・加入者の声



「品質低下の収入減も補償」

【岩手県一関市 小野 正一さん（68）】

経営規模＝水稲26ヘクタール、小麦8ヘクタール

水稲の栽培面積26ヘクタールのうち、4ヘクタールで昨年市場デビューした県の新ブランド米「金色の風」を作付けています。今年は面積を拡大し、ブランド力を高めるためにも、品質の良い栽培を心がけています。

農業の多様化により、現行制度だけでは十分な補償を受けることが難しくなっていると感じています。収入保険制度は、**ブランド米も生産者ごとの販売価格で補償されるのがメリット**です。また、昨年のような天候不順の年には「くず米」が多くなり、販売収入の低下が心配されます。収入保険ではこれらもカバーされるので、期待しています。

保険金の支払いは青色申告後の審査となるので、現行制度より遅れることが想定されます。農業は先行投資の部分が大きいので、早期支払いが理想ですが、収入保険制度には**「つなぎ融資」**を活用できるとのことですので、農家は助かると思います。

（農業共済新聞 2019年事業推進特集号より）